

宇部港長期構想【概要版】

○将来像と基本戦略

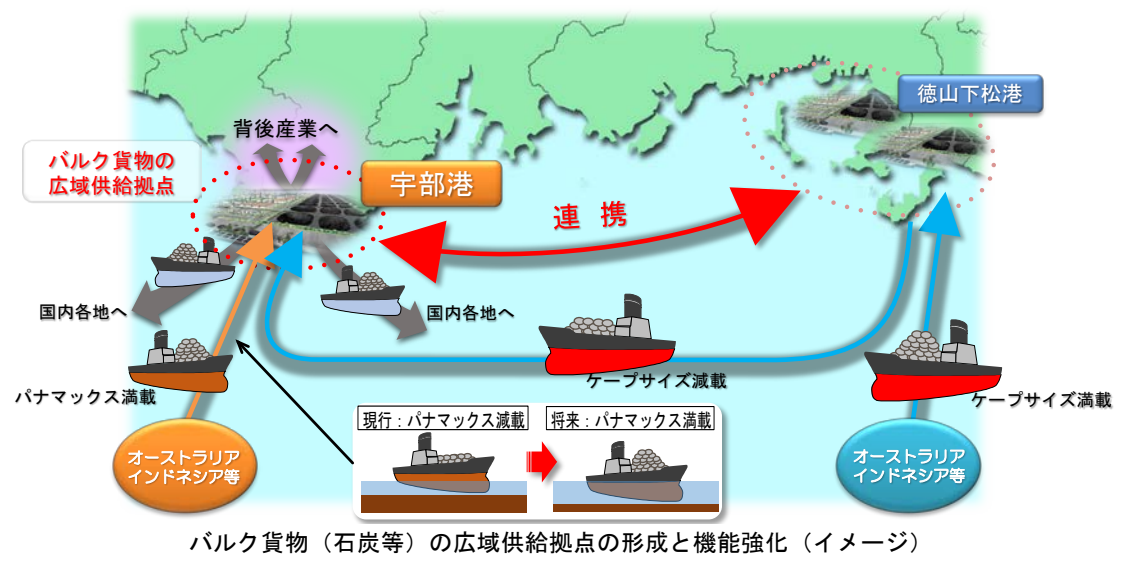
将来像	基本戦略
物流 輸送の効率化と多様なニーズに対応する宇部港	戦略1 我が国産業の国際競争力強化に資する物流拠点の形成 戦略2 背後企業の宇部港の利用促進につながる多様なニーズへの対応 戦略3 宇部港の「先進性」を活かした環境ニーズへの柔軟な対応
安心・安全 安心な暮らしや企業活動を維持し、災害時においても機能を維持する宇部港	戦略4 安心な暮らしや企業活動の維持 戦略5 災害時のエネルギーサプライチェーンの維持
みなとまちづくり 交流の場を創出し、人々が集いにぎわう場となる宇部港	戦略6 交流拠点・親水空間の形成

○基本戦略

物流 戦略1：我が国産業の国際競争力強化に資する物流拠点の形成

石炭等の我が国の産業を支える物資の低廉な輸送により、産業の国際競争力強化及び国民生活の質の向上を図るため、共同輸送やコールセンター間の連携、効率的なターミナル運営などの企業間の連携を促進させるなどの国際バルク戦略港湾施策の推進を着実に図ることや、さらなる船舶の大型化への対応やバルク貨物の輸送の効率化に対応するための港湾機能を確保することなどにより、バルク貨物（石炭等）の広域供給拠点の形成と機能強化を目指す。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
バルク貨物（石炭等）の広域供給拠点の形成と機能強化	国際バルク戦略港湾施策の推進				新沖の山 沖の山 芝中
	さらなる船舶の大型化への対応				
	バルク貨物輸送の効率化への対応				



物流

戦略2：背後企業の宇部港の利用促進につながる多様なニーズへの対応

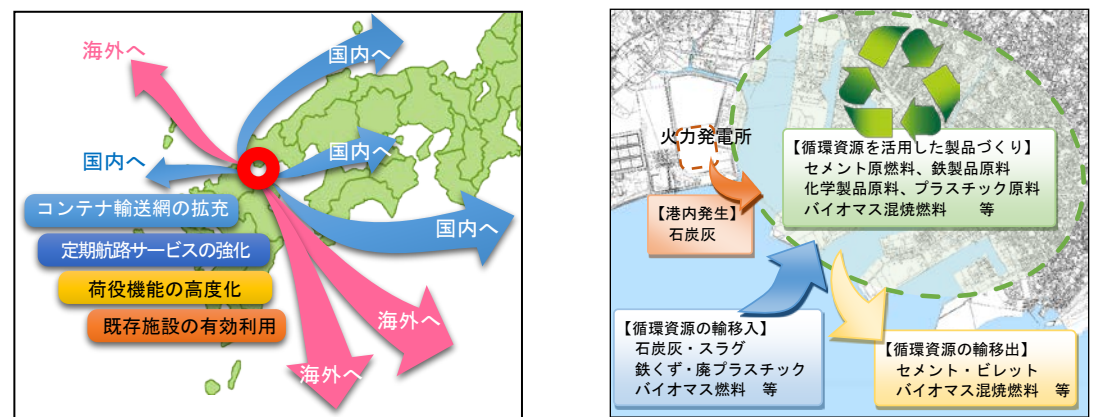
宇部港の利用を促進させるために、背後企業のニーズを踏まえ、コンテナ輸送網の拡充や RORO 船などを利用した複合一貫輸送など、定期航路サービスの強化を図っていく。

また、荷役機能の高度化や老朽化施設の廃止・埠頭の再編などによる既存施設の有効利用を図ることで、利用者の利便性向上を目指す。

一方、循環資源は、リサイクルポート施策の推進を図り、新たな静脈物流ニーズにも対応していく。

さらに、石油製品等については、将来的に国内需要の減少が見込まれる中で、新たに東アジアを中心とした海外への輸出にも対応することで、広域の供給拠点の維持、拡大を図っていく。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
利用者の利便性向上のための物流機能強化	コンテナ輸送網の拡充				芝中 東見初
	定期航路サービスの強化				
	荷役機能の高度化				
	既存施設の有効利用				
静脈物流ニーズへの対応	リサイクルポート施策の推進				港全体
石油製品等の広域供給拠点の維持、拡大	石油製品等の輸出の展開への対応				西沖の山 新沖の山



物流

戦略3：宇部港の「先進性」を活かした環境ニーズへの柔軟な対応

エネルギーや化学工業関係の先進的な技術を有した数多くの企業の立地や、「宇部方式」としていち早く公害対策に取り組んだ先進性を活かして、再生可能エネルギー、新エネルギー、港湾・物流活動のグリーン化なども視野に入れ、環境問題に対する社会の要求に柔軟に対応できる港を目指す。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
環境への先進的な取組みの発展	環境に対する情報感度を高め、先進的な取組みへの柔軟な対応				港全体



出典：「港湾の中長期政策「PORT2030」（概要版）」より作成
港湾・物流活動のグリーン化のイメージ

宇部港長期構想【概要版】

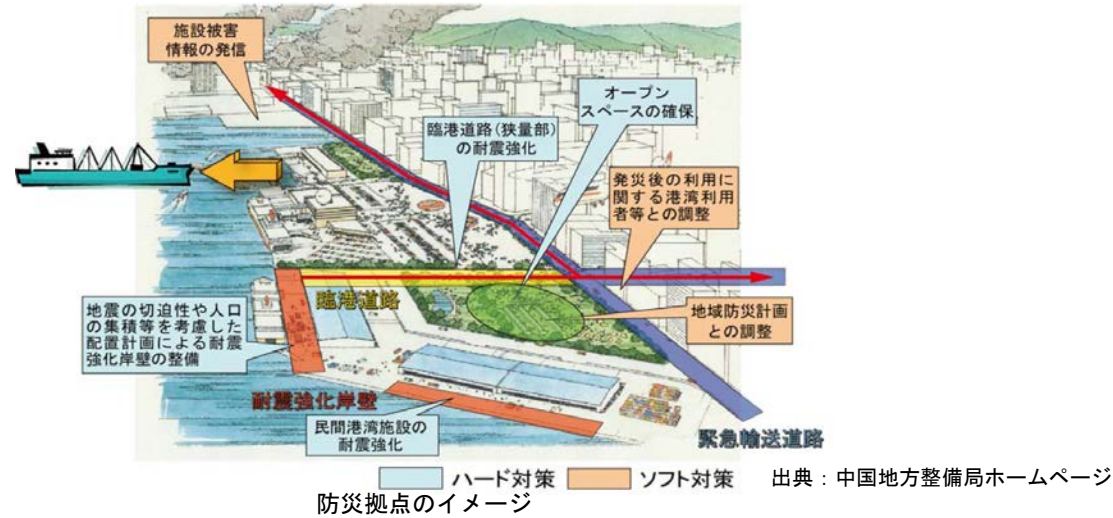
安心・安全

戦略4：安心な暮らしや企業活動の維持

背後地域が被災した際の防災拠点としての機能強化を図るため、緊急物資や船舶による救援活動を受入れるための耐震強化岸壁を確保し、緊急輸送道路と一体となって機能させる。併せて、海上輸送機能を早期に回復することに努め、企業活動の維持や早期復旧に貢献することにより、地域の防災機能の強化に対応する。

また、物流機能強化に伴って発生する浚渫土砂等の処理空間を確保するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物及び災害廃棄物の処理空間確保の要請にも対応していく。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
防災機能の強化	大規模災害対策施設の確保				芝中
浚渫土砂や廃棄物への対応	浚渫土砂等の処理空間の確保、一般・産業・災害廃棄物の処理空間確保の要請への対応				新沖の山

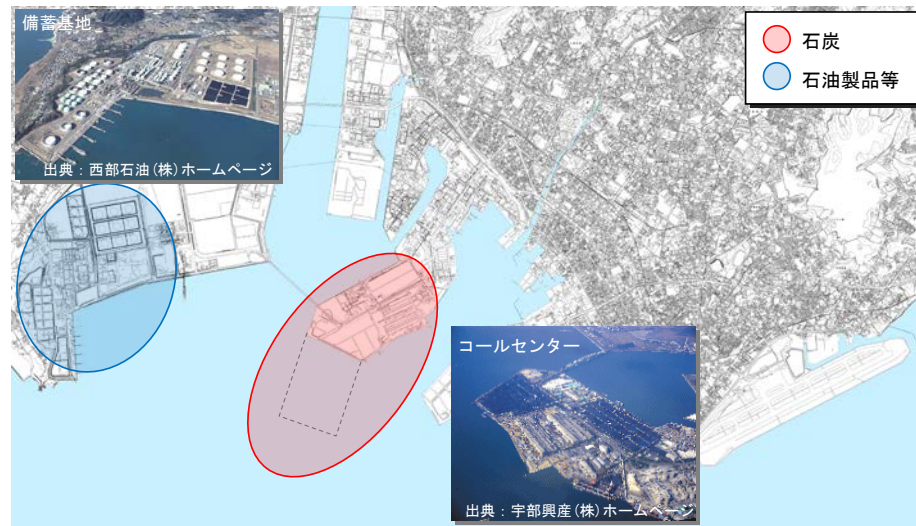


安心・安全

戦略5：災害時のエネルギーサプライチェーンの維持

今後、想定される大規模災害等に対し、我が国の産業活動の継続性を確保するため、関係者間の連携を図りながら、宇部港のエネルギー供給・備蓄機能を活用することにより、災害時のエネルギーサプライチェーンの維持を目指す。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
災害時のエネルギー供給機能の確保	エネルギー供給・備蓄機能の災害時の活用				沖の山 新沖の山 西沖の山



宇部港のエネルギー供給・備蓄拠点

みなとまちづくり

戦略6：交流拠点・親水空間の形成

宇部港が「人々の集う」場となる取組みとして、地域の特色を活かした交流拠点・親水空間の形成に努める。特に、クルーズ船の寄港誘致を図りつつ、インバウンド需要を取込んでいけるよう、鉄道、航空機等と組合せた広域周遊ルートとの連携や、クルーズ船による訪日客と住民の交流が快適に行える場としてのにぎわい空間の形成を図る。併せて、工業港を支える宇部港の特色を観光資源として活用し、地域活性化に向けたみなとのにぎわいづくりを目指す。

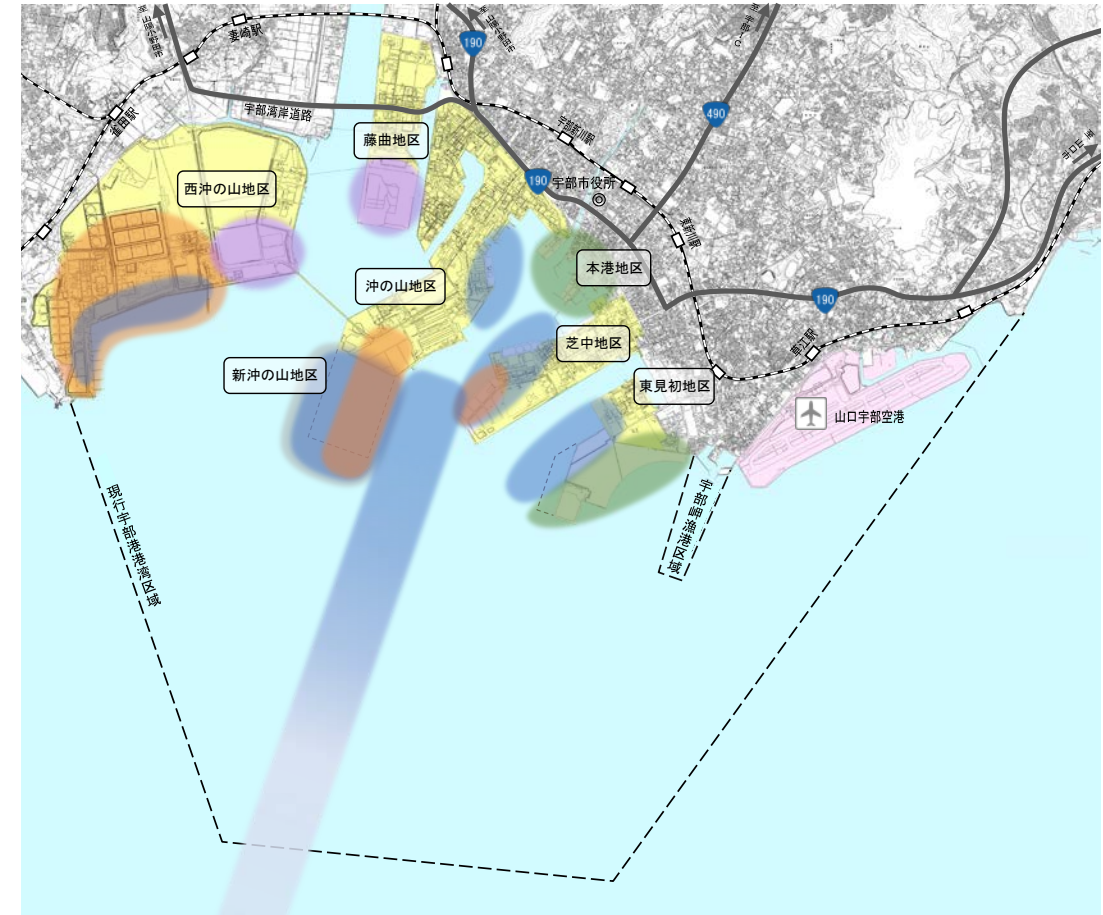
また、宇部港に注ぐ真締川との連続性や山口宇部空港との近接性も踏まえると、「宇部市立地適正化計画」が設定する都市機能等とも連携することで、市民や訪問客に親まれる水辺空間として親水性の向上を図る。

さらに、市民や訪問客に対して、学習会の開催や港のPRをするとともに、水産品など地域の特産品を販売することなどにより、宇部港や地場産業への理解を深めてもらうことで、より親しみのある港となるよう努める。

施策	取組内容	取組時期			地区
		短期	中期	長期	
地域の活性化に向けたみなとのにぎわいづくり	にぎわい空間の形成				本港・東見初
	クルーズ船の寄港誘致				東見初・芝中
	観光への活用				港全体
特色を活かした親水性の向上	河川との連携				本港・東見初
	市民や訪問客に親まれる水辺空間の充実				港全体
より親しめる港湾へ	港や地場産業のPR、教育				港全体



○空間利用計画（ゾーニング）



- 物流ゾーン
- 安心・安全ゾーン
- にぎわいゾーン
- 生産エリア
- 人流エリア
- エネルギーエリア
- 廃棄物対応エリア